

ハーブティーはアレルギー症状を抑制する

技術の特徴

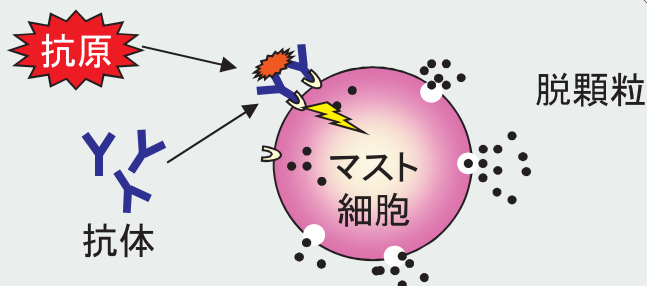
・食物アレルギーモデルマウスにハーブティーを飲用させると、即時型アレルギー症状が抑制された。

研究の内容

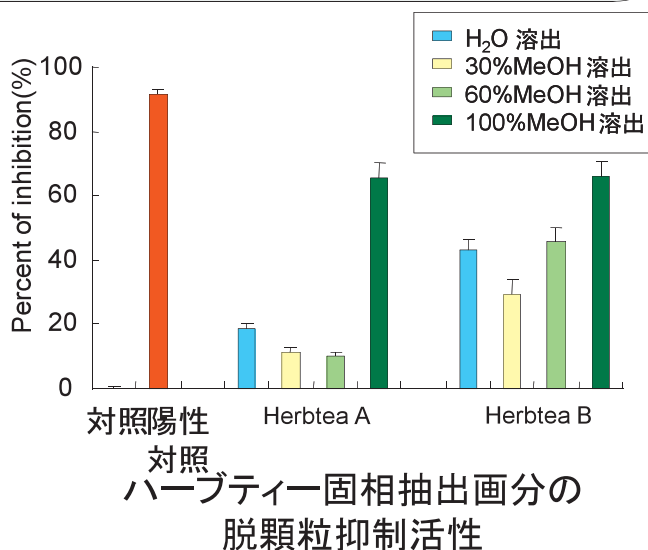
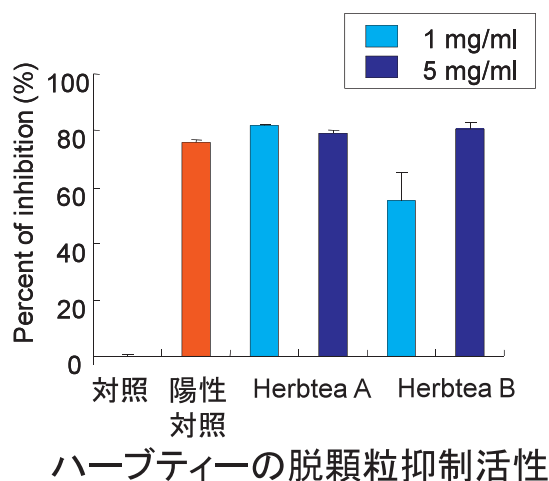
即時型アレルギーとは・・・

抗原の刺激により、マスト細胞の中に蓄積されていたヒスタミンなどの物質が細胞外へ出てくる(脱顆粒)

→花粉症、じんま疹などの症状



脱顆粒の抑制により、即時型アレルギー症状は押さえられる



ハーブティーA,Bともにマスト細胞の脱顆粒を抑制した

マスト細胞の脱顆粒を抑制する効果は、100%MeOH溶出画分が最も高い

今後の展開

・ハーブティー試料中に含有される抗アレルギー活性を示す成分の単離・同定をすすめ、抗アレルギー食品素材としての利用可能性を探る。

参 考

「SUPPRESSIVE EFFECT OF HERBAL TEAS ON ALLERGIC REACTIONS」、Yuko TAKANO-ISHIKAWA, Jun WATANABE, Yuuki TAGUCHI, Ryo ARAI and Masao GOTO、日本動物細胞工学会2010年度大会(JAACT2010)要旨



農研機構
食品総合研究所



〒305-8642 茨城県つくば市観音台2-1-12

代表研究者: 石川祐子

所 属: 食品機能研究領域

機能性成分解析ユニット

問合わせ先: 029-838-8055 yuko@affrc.go.jp